

## 1 つぎのお話を よんで もんだいに こたえましょう。

ある日、はるか、学校のかえりに、いつもよる公園に立ちよりました。

すべりだいのちかくをとおると、見たことのない花がさいているのに気づきました。

その花は、うすい青色で、よく見ると、ひかりにあたるたびにすこしいろがかわるように見えました。

はるかは、「こんな花、前はなかったよね」と思い、しばらくそのばからはなれられなくなりました。

風がふくと、花びらがかすかにゆれて、さらにふしぎに見えました。

つぎの日も、公園によってみると、その花はまださいていました。

でも、まわりの草はすこしのびていて、花のぼしよがすこしだけかわっているように見えました。

はるかは、「もしかして、この花は、毎日すこしずつばしよをかえているのかな」と思い、しゃがんでじつと見つめました。

よく見ると、くきの向きも、前の日とちがう気がしました。

家にかえってお母さんに話すと、「夜のあいだにつぼみがうごく花もあるらしいよ」といわれました。

はるかは、「じゃあ、あしたもたしかめに行こう」と思い、「こころがすこしわくわくし、どんなふうにかわるのかを思い浮かべながら、つぎの日がたのしみになりました。

公園のその花は、はるかにとって、まい日たしかめたくなる、ちいさなふしぎになりました。



(1) はるかは、はじめにその花のどんなところをふしぎだと思いましたが。文の内容をもとに書きましょう。



(2) 花のことをかんがえているときはるかの気もちとして、いちばん近いものをえらび番号を○でかこみましょう。

- ① こわくて近づきたくない気もち
- ② つまらなくて早くかえりたい気もち
- ③ ふしぎで、もっとしりたいと思う気もち
- ④ だれにもしられたくないと思う気もち

(3) はるかは、なぜ「あしたもたしかめに行こう」と思いましたか。文の内容をもとに書きましょう。



(4) この話のタイトルとして、いちばんふさわしいものをえらび番号を○でかこみましょう。

- ① すべりだいのひみつ
- ② はるかとかくれんぼ
- ③ 青い花のぼうけん
- ④ 公園のちいさなふしぎ

## 1 つぎのお話を よんで もんだいに こたえましょう。

ある日、はるかには、学校のかえりに、いつもよる公園に立ちよりました。

すべりだいのちかくをとおると、見たことのない花がさいているのに気づきました。

その花は、うすい青色で、よく見ると、ひかりにあたるたびにすこしいろがかわるように見えました。

はるかは、「こんな花、前はなかったよね」と思い、しばらくそのばからはなれられなくなりました。

風がふくと、花びらがかすかにゆれて、さらにふしぎに見えました。

つぎの日も、公園によってみると、その花はまださいていました。

でも、まわりの草はすこしのびていて、花のぼしよがすこしだけかわっているように見えました。

はるかは、「もしかして、この花は、毎日すこしずつばしよをかえているのかな」と思い、しゃがんでじつと見つめました。

よく見ると、くきの向きも、前の日とちがう気がしました。

家にかえってお母さんに話すと、「夜のあいだにつほみがうごく花もあるらしいよ」といわれました。

はるかは、「じゃあ、あしたもたしかめに行こう」と思い、「こころがすこしわくわくし、どんなふうにかわるのかを思いうかべながら、つぎの日がたのしみになりました。

公園のその花は、はるかにとって、まい日たしかめたくなる、ちいさなふしぎになりました。



- (1) はるかは、はじめにその花のどんなところをふしぎだと思いましたか。文の内容をもとに書きましょう。

解答例) うすい青色で、ひかりにあたるたびにすこしいろがかわるように見えたところ。

- (2) 花のことをかんがえているときはるかの気もちとして、いちばん近いものをえらび番号を○でかこみましょう。

- ① こわくて近づきたくない気もち
- ② つまらなくて早くかえりたい気もち
- ③ **ふしぎで、もっとしりたいと思う気もち**
- ④ だれにもしられたくないと思う気もち

- (3) はるかは、なぜ「あしたもたしかめに行こう」と思いましたか。文の内容をもとに書きましょう。

解答例) 毎日すこしずつばしよをかえているのかたしかめたかったから。

- (4) この話のタイトルとして、いちばんふさわしいものをえらび番号を○でかこみましょう。

- ① すべりだいのひみつ
- ② はるかとかくれんぼ
- ③ 青い花のぼうけん
- ④ **公園のちいさなふしぎ**